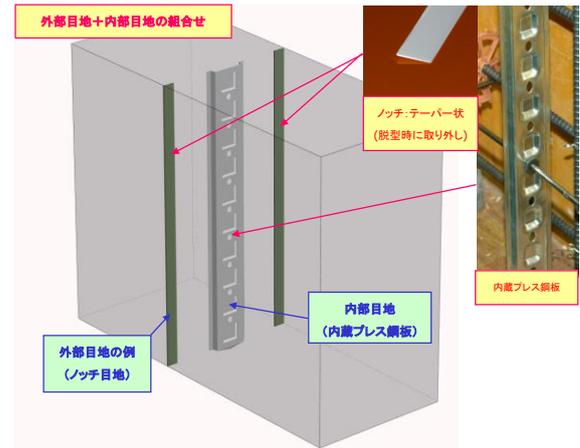


<p><b>【技術の名称】</b> KCJW工法 —鹿島式ひび割れ誘発目地付き耐震壁工法—(改定)</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第08-24号 改 性能証明発効日：2013年3月28日</p> <p><b>【取得者】</b> 鹿島建設株式会社</p>
---	---

**【技術の概要】**

本技術は、壁面側に設置する外部目地のほかに、面内せん断力の伝達が可能なコッター付きプレス鋼板(以下、内蔵プレス鋼板と呼ぶ)を鉄筋コンクリート造の壁板断面内に埋設することで、収縮ひび割れを効果的に集中させるひび割れ誘発目地付きの耐震壁工法である。外部目地には、従来からの台形目地または新たに開発したくさび形状のノッチ目地を用いることにしている。本工法は、内蔵プレス鋼板の幅も含めた壁厚さを用いて、鉄筋コンクリート造耐震壁の構造耐力を評価できることを特徴としている。



ひび割れ誘発目地システムの概要

**【改定内容】**

新規：GBRC 性能証明 第08-24号 (2009年3月3日)

改定：GBRC 性能証明 第08-24号 改 (今回)

- ・本工法の施工・監理要領の変更
- ・鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説 2010に準拠する変更

**【技術開発の趣旨】**

ひび割れ誘発目地付きの鉄筋コンクリート造耐震壁については、目地欠損部の増加に伴い、剛性および耐力の減少が懸念されることより、本工法は、適切な目地の効果を確認する一方で、目地を配置していない耐震壁と同等の剛性および終局耐力を確認することを意図して開発されている。



内蔵プレス鋼板の設置状況

**【性能証明の内容】**

本技術について性能証明の内容は、以下のとおりである。

申込者提案の「KCJW工法 設計要領」ならびに「KCJW工法 施工マニュアル」に基づき設計・施工されたひび割れ誘発目地付き鉄筋コンクリート造耐震壁は、短期荷重時に修復性を損なう恐れのあるひび割れを起こさず、同設計要領で示している終局耐力を有する。

**【本技術の問合せ先】**

鹿島建設株式会社 担当者：浅岡 茂  
〒107-8648 東京都港区赤坂 6-5-11

E-mail：asaoka@kajima.com

TEL：03-5544-0269 FAX：03-5544-1713